

オーストラリア Griffith 大学での国際看護研修

A report of International Nursing Study Program at Griffith University, Australia

○辻村弘美¹, 岡美智代¹, 金泉志保美¹, 森淑江¹, 篠崎博光¹

Hiromi Tsujimura, Michiyo Oka, Shiomi Kanaizumi, Yoshie Mori, Hiromitsu Shinozaki

1 群馬大学大学院保健学研究科

Graduate school of health sciences, Gunma University

【はじめに】

本学保健学科看護学専攻ではカリキュラム・ポリシーとして、「地域的視点と国際的視点の両方を持ち保健医療の諸課題に広く対応できる能力を身に付けられる教育」を掲げており、看護学専攻では国際交流活動を推進する委員会を立ち上げ、学生に海外研修の機会等を提供し、支援を行っている。オーストラリアのGriffith大学と本学との交流においては、2016年より開始となり、Griffith大学の教員による講演や学生が本学で研修を受ける機会を提供している。Griffith大学での国際看護研修は、2018年と2019年に行われ、今回は2019年の研修について報告する。この研修は国際保健医療研修として本学での単位認定を受けている。研修の概要や学生の学びを振り返ることで、今後の研修に生かしていきたいと考える。

【方法】

1. 研修期間：2019年3/23（土）～3/31（日）
2. 場所：オーストラリア、クイーンズランド州Griffith大学ゴールドコースト校、看護・助産学部
3. 研修参加者：学部生7名、大学院生2名、教員2名の計11名
4. 研修目的
 - 1) 海外の医療・看護事情について学ぶとともに、学生間の交流を通して国際的な視点をもち看護の視野を広げる。
 - 2) 看護研究と臨床看護の融合に関する基礎を学ぶ。
5. 研修内容
 - 1) 事前準備
 - (1) オリエンテーション
 - ① 安全対策
海外留学に関する危機管理ガイダンス、外務省 海外安全情報配信サービス「たびレジ」の登録等
 - ② 研修に関する事務手続き
研修費用、渡航手続き、補助金の申請等
 - ③ 宿泊と荷物の準備
 - (2) 事前課題学習の提示と発表会
 - ① Griffith大学と看護・助産学部について
 - ② オーストラリアとゴールドコーストについて
 - ③ オーストラリアの医療と看護について
 - 2) 研修スケジュール
 - 3/25：キャンパスツアー、授業聴講
 - 3/26：オーストラリアの看護とヘルスケアの講義等
 - 3/27：ゴールドコーストの私立病院の見学
 - 3/28：授業聴講（看護研究についてグループワークの参加）、学生の英語のプレゼンテーション（日本の看護や医療の紹介）
 - 3/29：スキルラボセンターでの看護技術演習、授業聴講

3) 帰国後報告会

2019年の4/22と4/26に学内で研修の成果発表会を行う（詳細は結果参照）。

4) 倫理的配慮

研修に関わる個人が特定されないように記載し、本報告については研修参加者にメールで連絡して同意を得た。

【結果】

研修についての帰国後報告会での発表内容と学生の学びについて報告する。

1. 看護学の授業について

基礎看護や解剖生理、看護研究、医療倫理等の授業を聴講した。学生は、オーストラリアの学生が積極的に意見を述べること、教員が一方向的に話をすることが多い日本のスタイルと異なり、教員と学生が授業を作り上げることを学んでいた。また、学生が予習をして授業に臨んでいることに刺激を受けていた。

2. 看護師の申し送りの研究について

日本ではほとんど実施されていないベッドサイドでの申し送りについて、学生は患者安全と患者中心の看護の視点からもベッドサイドでの申し送りが求められていること学んでいた。日本でも臨床で取り入れられるためには、どうすればいいか考えていきたいとの意見があった。

3. オーストラリアのヘルスケアシステムについて

若者の薬物依存や性感染症が問題となっていることや先住民の健康問題や健康観の違い等の特徴について学んでいた。また、医療費は公立の病院は無料であるが、私立は全額負担である。オーストラリアは広大な土地を有し、医療アクセスが悪い地域も多いので、遠隔医療など医療提供の方法を工夫する必要があることを学んでいた。

【まとめ】

学生はオーストラリアにおける医療や看護、学生生活などを日本の状況と比較して刺激を受けながら学んでいた。また、グローバルな視点をもった看護研究について学び、考えることができ、本研修は看護における国際的視野を広げることに貢献していると考えられる。